

# 「もと」をつくる

『生徒指導だより』  
平成29年7月20日  
第5号  
発行 生徒指導部

埼玉県教育委員会より「ネットトラブル注意報（第3号、第4号）」が配信されました。「ネットいじめ」と「夏休み期間中のインターネット利用の注意点」についてです。ネット依存にならないように夏休み中も規則正しい生活を送りましょう。また保護者の方は、子どもたちがトラブルに巻き込まれることのないように、ネットの利用についての見守りをお願いします。

ネットトラブル注意報(第3号)

## ネットいじめについて

埼玉県教育委員会

最近ニュースなどでもよく耳にするようになった「ネットいじめ」。以前の「ネットいじめ」は匿名掲示板での他者に対する誹謗中傷などが主でしたが、インターネットサービスの発展により、その実態は変化しつつあります。

今回は、そうした最近の「ネットいじめ」についてお話しします。

### ネットいじめの実態

では、具体的に最近の「ネットいじめ」はどんなサービスでどういったかたちでおこなわれているのでしょうか。

特に増えているのが、SNSや無料通話アプリを使ったものです。

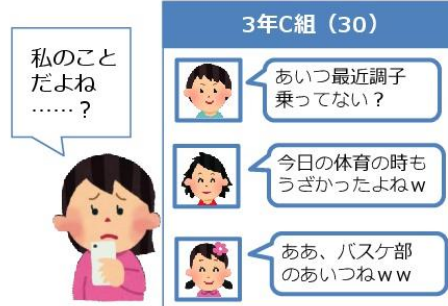
#### SNSでのネットいじめ

SNSで特定の生徒になりましたアカウントを作成し、そこに同級生への誹謗中傷などを書き込んで、その生徒が学校で孤立するよう仕向ける。



#### 無料通話アプリでのネットいじめ

無料通話アプリのグループ内で、名前を出さずにそれとなくわかるように特定の生徒の悪口を言ったり、特定の生徒が発言した場合だけ無視したりする。



このほかにも、SNSで特定の生徒の個人情報を拡散したり、無料通話アプリで特定の生徒をグループからはずしたり、特定の生徒だけを除いたグループを作ってその生徒の悪口を言ったりなどといったものがあげられます。

### ネットいじめの特徴について

「ネットいじめ」の特徴としては、場所や距離、時間帯に関係なくおこなわれることがあげられます。通常のいじめとは違い、スマートフォンなどのインターネット機器があれば24時間どこからでもいじめがおこなわれる可能性があるのです。

また、外部からいじめがわかりづらいということも大きな特徴です。無料通話アプリでは、友達になつたりグループに招待されたりしなければやりとりの内容を見ることはできませんし、SNSでも外部から投稿が見られないように設定することが可能なため、外部からいじめを把握することが非常に困難なのです。

「ネットいじめ」は誰でも簡単に被害者にも加害者にもなりうるものです。子どもたちには、自分がいじめられた場合だけでなく、いじめが疑われる書き込みなどを見つけた場合にも、すぐ周りの大人たちに相談するよう指導しておくことが大切です。また、日頃から声掛けをおこない、子どもたちに変ったことがないか、様子を見守ることも必要になります。

ネットトラブル注意報(第4号)

## 夏休み期間中のインターネット利用の注意点

埼玉県教育委員会

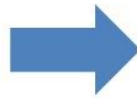
もうすぐ夏休みですね。時間にゆとりのある夏休みには、子どもたちがインターネットを利用する機会も増えるかと思います。そこで今回は、夏休み期間中の子どもたちのインターネット利用において、注意しておくべき点についてお話ししたいと思います。

### 長時間利用に要注意

夏休み期間中に問題となる可能性があるのが、インターネットの長時間利用。夏休みは自由に使える時間がたくさんあるため、ついつい時間を忘れてインターネットに熱中してしまう子どもたちが増えることが予想されます。

しかし、インターネットの長時間利用が子どもたちの実生活に及ぼす悪影響は、けっして少なくありません。夜更かしをして生活リズムがくるったり、勉強に集中できなくなったり、……夏休みをあけてからも、夜中までインターネットを使う習慣がなおらず、睡眠時間が少なくなって健康をそこねてしまったり、といったことも考えられます。

朝早く起きる必要もないし、もうちょっとだけやってから寝よう



こうした状況におちいらないためにも、各ご家庭でインターネット利用のルールを作ることが大切です。すでにルールを作っているというご家庭でも、夏休みにルールを改変しましょう。

#### ルール作りの例

- ・ 1日のインターネット利用時間を決める（1日～時間まで）
- ・ 夜にインターネット機器を自室に持ち込ませない（夜10時以降はリビングに置いておく、など）



### 不適切な投稿が増えることも

他にも気をつけておきたいのが、不適切な行為に関する投稿です。夏休み期間には、お祭りなどのイベントがたくさんありますし、友達同士で外に遊びにでかける機会も増えるかと思います。

しかしなかには、ついついハメをはずしすぎて、お酒を飲んだり、たばこを吸ったり、川に飛び込むなどの危険行為をおこなったり、公共の場で騒いだりして、さらにそうした様子を撮影したものをSNSなどのインターネットに投稿してしまう子どもたちもでてきます。

こうした投稿をおこなうと、投稿を見た人たちから非難のコメントが集まったり、過去の投稿から個人情報を探られて、問題の投稿とあわせて個人情報をインターネット上に拡散されたりする可能性があります。

#### 学校全体で指導を

不適切な投稿を防ぐためには、自分の投稿は友だちだけでなくさまざまな人が目にする可能性があることを意識し、投稿する前に不適切なものが含まれていないか確認する習慣をつけるよう、学校全体で指導していくことが必要です。



夏休みはインターネット利用の問題が起こりやすい時期です。夏休みに入る前に今一度、子どもたちにインターネットの利用方法を見直させてみてはいかがでしょうか。

※本資料は、埼玉県教育委員会の委託により、PITCREW株式会社が作成したものです。